経済産業省

環境省
Ministry of the Environment

資料３－２

GX製品（特にグリーン鉄）の需要創出について

経済産業省　GXグループ
環境省　地球環境局
2026年11月11日

GX製品の需要創出に向けた取組（グリーン鉄の事例）

令和8年8月26日
第17回GX実行会議　資料2

■ 日本成長戦略で示された、GX製品の更なる市場拡大のためには、その需要を創出・拡大することが重要。**例えば鉄鋼業界は、高炉から革新電炉への転換に向けた大規模な設備投資や、標準化戦略の推進をはじめ、GXの取組が先行。今後、グリーン鉄の供給拡大が見込まれる中で、その価値を適切に評価する市場の存在が不可欠。**

■ 今後、官需による率先調達や民需による先行需要創出を強化し、**GXの需要と供給の好循環を実現していく。**

鉄鋼業界のGXの取組

GX投資

- 高炉から革新電炉への転換投資は、**28年度以降の生産開始に向け着工**。
- 高炉を用いた**水素還元技術の開発**は、**試験炉でCO2排出量の45%削減を達成**。

標準化・国際戦略

- 自らの排出削減活動について、**業界統一的なGX価値の評価方法に関するガイドライン**や、**鉄鋼を使用する業界とガイドライン策定に向けて議論**。
- 上記の考え方が国際ルール等に反映されるよう、**国際規格の議論に参画する**など、**標準化を推進**。

官需による率先調達と民需による先行需要創出

公共調達における取組（例）

- 国土交通省が実施する公共工事で、**グリーン鉄を活用した試行工事を今年7月から開始**。**来年度は、規模倍増を目指し、2030年度以降に公共工事において本格活用予定**。
- 地球温暖化対策計画のフォローアップに係る議論の中で、**グリーン鉄などのGX製品について、政府が初期需要の創出を先導することの重要性を共有**。
- グリーン購入法（**物品・役務分野**）において、**グリーン鉄を特定調達物品として位置付け**。

民需による先行者支援の強化（例）

- **建築：**建築物のライフサイクルカーボン評価制度を創設する**改正建築物省エネ法が今年7月に成立**。今後、2028年度に制度開始するため、引き続き詳細を検討。また今年度より、**ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）建設時にグリーン鉄を使用する場合、追加的に補助。**
- **自動車：クリーンエネルギー自動車導入補助金（CEV補助金）**において環境負荷の低減及びGX推進に向けた鋼材の導入に関する自動車メーカーの計画・取組を評価する仕組みを2025年度より導入。**2026年度からは、導入に関する実績を評価の基準として追加**。
- **造船：**今年度より、**ゼロエミッション船等の建造時にグリーン鉄を使用する場合、追加的に補助。**
  今後、**船舶におけるグリーン鉄使用についての検討会を、国土交通省及び関係業界と開催予定**。
- **横断的分野：**本年4月、GX需要創出等へ意欲的な企業の枠組みとして**GXフューチャーリーグを創設**（初年度2,689社が参画）。またGX率先実行宣言について、**より野心的な目標にコミットし、需要創出への高い貢献が認められる企業を評価する仕組みへ見直し**（GX関連予算における加点等）

GX需要創出の先進事例（グリーン鉄試行工事）

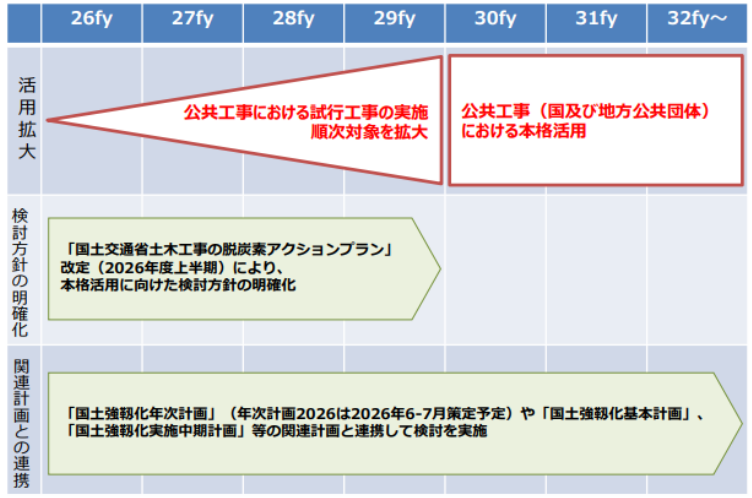
- 2025年12月、**GX実現に向けた専門家WG**において、**①2026年度以降、公共工事におけるグリーン鉄の試行工事を実施し、順次対象を拡大すること**、**②2030年度以降、公共工事におけるグリーン鉄の本格活用を実現すること**等を明確化。
- その後2026年7月には、**「国土強靭化年次計画2026」（国土強靭化推進本部決定）**や**「国土交通省土木工事の脱炭素アクションプラン」（国土交通省改定）**においても、同趣旨を明確化。
- 同月、**経済産業省と国土交通省は共同でプレスリリース**を発出。経済産業省が製造時のCO_2排出量を削減した鋼材であるグリーン鉄を活用した公共工事におけるCFPの算定などの調査を行うにあたり、国土交通省の発注する土木工事にて**「グリーン鉄試行工事」を実施する旨を発表**。
- 同試行工事は、その後**10月30日時点で、道路工事・河川工事において全国で15件が確定**しており、**今後も順次追加予定**。

グリーン鉄の活用について（GX実現に向けた専門家WG（第13回）より抜粋）

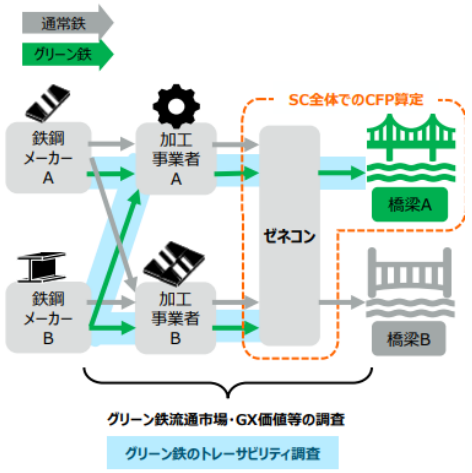
■ 土木分野（公共工事）におけるグリーン鉄の活用拡大に向けた大きなスケジュール感としては、
- まず、2026年度以降、公共工事におけるグリーン鉄の試行工事を実施し、順次対象を拡大するとともに、「国土交通省土木工事の脱炭素アクションプラン」の改定等を通じて本格活用に向けた検討方針を明確化する。
- 次に、2030年度以降、公共工事におけるグリーン鉄の本格活用を実現する。

■ 加えて、こうしたグリーン鉄の活用促進及び市場拡大に向け、試行工事の段階におけるグリーン鉄の流通市場、GX価値及びトレーサビリティ確保のための課題等の調査、グリーン鉄を使用した公共工事におけるCFP算定等の調査、GX製品の需要喚起策等の検討を実施する。

<公共工事におけるグリーン鉄の活用拡大等のイメージ>



<調査のイメージ>



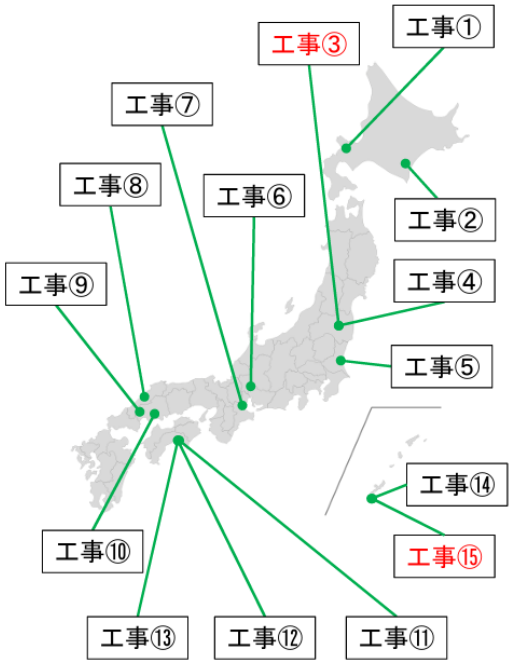
出典：https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/gx_jikkou_kaigi/senmonka_wg/dai13/shiryo1.pdf

グリーン鉄試行工事の実施個所について

直轄の試行工事について（10月30日時点）

・道路工事・河川工事において、15件の試行工事が確定
・今後も順次追加予定

工事①：北海道開発局（北海道）
一般国道5号　仁木町銀山大橋上部中央工事
工事②：北海道開発局（北海道）
帯広広尾自動車道　大樹町　リュウ川橋上部工事
工事③：東北地方整備局（福島県）
阿武隈川上流第二遊水地水門工事【今回追加】
工事④：東北地方整備局（福島県）
阿武隈川上流第三遊水地水門工事
工事⑤：関東地方整備局（茨城県）
R7那珂川左岸三反田地区外築堤工事
工事⑥：中部地方整備局（岐阜県）
令和7年度　鵜森三郷排水路整備工事
工事⑦：中部地方整備局（三重県）
令和7年度　42号松阪多気BP朝田高架橋鋼上部工事
工事⑧：中国地方整備局（島根県）
令和8年度　国道9号熱田地区歩道橋上部工事
工事⑨：中国地方整備局（広島県）
令和7年度　太田川庚午地区耐震対策第1工事
工事⑩：中国地方整備局（広島県）
令和7年度　福山道路赤坂東歩道橋鋼上下部工事
工事⑪：四国地方整備局（高知県）
令和7−9年度　安芸道路黒鳥高架橋上部A1-P2工事
工事⑫：四国地方整備局（高知県）
令和7−9年度　安芸道路黒鳥高架橋上部P2-P7工事
工事⑬：四国地方整備局（高知県）
令和7−9年度　安芸道路黒鳥高架橋上部P7-A2工事
工事⑭：沖縄総合事務局（沖縄県）
令和8年度小禄道路名嘉地OFFランプ上部工工事
工事⑮：沖縄総合事務局（沖縄県）
令和8年度小禄道路名嘉地ONランプ上部工工事【今回追加】



位置図

出典：https://www.mlit.go.jp/tec/content/002044885.pdf

高市首相の国連総会演説（9/22）

（関連部分抜粋）

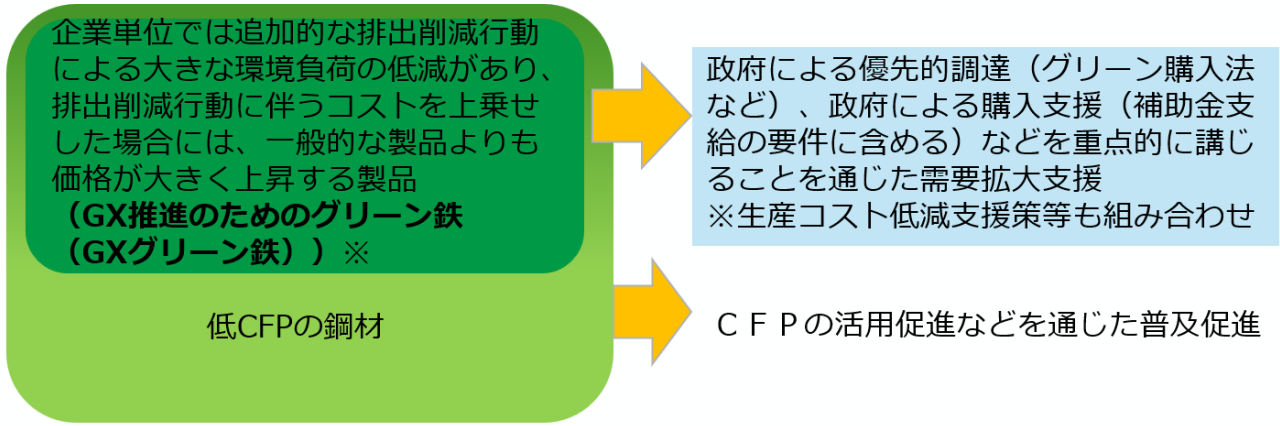
- 今を生きる人々の命と未来を生きる人々の命を守るため、全ての国が、地球温暖化対策に真剣に取り組む必要があります。私は、気候変動対策と経済成長は両立できると信じています。
- 日本はこれまで、**グリーン鉄を始めとした生産・技術基盤の構築**、世界最高効率のガス火力発電の活用、更には省エネ型データセンターの普及など、日本の技術力をいかし、2050年のネット・ゼロを目指して、グリーン・トランスフォーメーション（GX）の取組を進めています。
- これらの取組を、エネルギー需給構造の強靱化の視点から更に強化し、「パワーGX（エネルギー需給構造強靱化総合パッケージ）」として強力に進めます。そして、脱炭素化とエネルギー安全保障、経済成長を同時に進める「AZEC（アジア・ゼロエミッション共同体）」といった取組を通じて世界の気候変動対策に貢献していきます。



出典：首相官邸Webサイト（https://www.kantei.go.jp/jp/105/statement/2026/0922enzetsu.html）

（参考）グリーン鉄の定義について

- 「グリーン鉄」とは、経済産業省「GX推進のためのグリーン鉄研究会」において、以下のとおり2つに分けて定義している。
  - ① **低CFPの鋼材**（下図：薄い緑）
  - ② **企業単位では追加的な排出削減行動による大きな環境負荷の低減があり、排出削減行動に伴うコストを上乗せした場合には、一般的な製品よりも価格が大きく上昇する製品**（下図：濃い緑）
- これらに対する支援の考え方は以下のとおり。
  - ① まず、需要家におけるCFPの活用を促すことで、**環境負荷が低い鋼材全般の利用拡大を促す**。
  - ② 加えて、**「GX推進のためのグリーン鉄（GXグリーン鉄）」（企業単位での追加的な直接的排出削減行動による大きな環境負荷の低減があり、排出削減行動に伴うコストを上乗せした場合には、 一般的製品よりも価格が大きく上昇する鋼材）については、政府による優先的調達や政府による購入支援などの政策を重点的に講じ、市場拡大を図っていく。**
- なお、グリーン鉄の品質については、通常の鉄鋼製品から変化するものではない。



※上図では「GX推進のためのグリーン鉄（GXグリーン鉄）」は、
「低CFPの鋼材」の内数としているが、ＣＦＰとの関係整理が今後必要

出典：GX推進のためのグリーン鉄研究会 とりまとめ （2025年1月）
https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/green_steel/20250123_report.html